

# 土木学会論文集査読報告書

査読依頼： 2004年 12月 24日  
報告書受領： 年 月 日

査読者氏名	査読 太郎	印	査読期限： 2005年 1月 17日
-------	-------	---	--------------------

受付番号	No. 1234	査読希望区分	①. 論文 2. 報告 3. ノート
題目	土木学会論文集の査読フォーマットに関する一考察		
著者名	第一著者・第二著者・第三著者		

## \* 査読にあたっての留意点

査読にあたっては、査読要領内規をよくご覧になり、適切な査読報告をお願いいたします。  
特に注意していただきたい点を以下に示します。

\* 査読期限を厳守してください。

査読期限は査読依頼日から 4 週間です。(再査読は 2 週間です)

\* 原稿の査読は搭載の可否を判定するための資料を提供するもので、論文の根本にかかわる内容の改善を図るのが目的ではありません。原稿の内容に対する責任は本来著者が負うべきものであり、その価値は一般読者が判断すべきものです。査読印の主観や好みを著者に押しついたり、原稿の体裁や書き方の完璧を期待する余り、将来の発展が大いに期待される原稿や実際に役立つ原稿を逃すことのないよう配慮して下さい。

\* 査読報告では、まず、判定をお示し頂くようになっておりますが、後に示して頂く、新規性、有用性、完成度、信頼度の評価を総合した判定をお願いいたします。

\* 「否」の場合、その理由を否の理由欄から選ぶと共に、具体的な内容を判定理由欄にわかりやすく簡潔にお示し下さい。

\* 評価は、各項目の内容を良く理解したうえで、御判定ください。例えば、完成度は研究の完成度ではなく、論文自体の完成度を問うものですので、誤解の無いようお願いいたします。

\* 修正意見を述べる場合、査読員の主観的な意見や好みに基づいた内容にならないよう特に注意して下さい。

判定 (論文の判定を4段階でお示してください。)			
Ⓚ			否
④. 是非登載すべき	3. 登載すべき	2. 登載してもよい	1. 登載は適当でない
再査読への希望    あり    なし			

否の理由 (論文・報告の場合には1~4の該当項目に 印を付けて下さい。)

誤り	a) 理論または考えのプロセスに客観的・本質的な誤りがある。	2 既 発 表	f) 明らかに既発表とみなされる。
	b) 計算・データ整理に誤りがある。		g) 連携形式で論文が構成されており、独立した論文・報告と認めがたい。
	c) 現象の解析にあたり、明らかに不相应な理論を当てはめ論文が構成されている。		h) 他人の研究成果をあたかも本人の成果のごとく記述して論文の基本が構成されている。
	d) 都合の良いデータ・文献のみを利用して議論が進められ、明らかに公正でない記述により論文が構成されている。		
	e) 修正を要する根本的な指摘事項をあまりにも多く含んでいる。		
レベルが低い	i) 通説が述べられているだけで新しい知見がまったくない。	4 内 容 全 体 ・ 方 針	n) 政策的な意図、あるいは宣伝の意図がきわめて強い。
	j) 多少の有用な資料は含んでいても、論文、報告にするほどの価値はまったく見られない。		o) きわめて片寄った先入観にとらわれ、原稿全体が独断的に記述されている。
	k) 論文、報告にするには明らかに研究などがある段階まで進展していない。		p) 理論的または実証的な論文あるいは事実に基づいた報告でなく、単なる主観が述べられているに過ぎない。
	l) 着想が悪く、当然の結果しか得られていない。		q) 私的な興味による色彩が極めて強く、論文集に掲載するには問題が多い。
	m) 研究・技術内容が単に他の分野で行われている方法の模倣で、まったく意義を持たない。		r) 学会としての本来の方針、目的に一致しない。
ノート	a) 原稿の根幹に重大な誤りがある。	b) 新しい知見がまったく見られない。	
	c) まったく独断的な記述であり、会員、読者に益すると考えられない。	d) 政策的あるいは宣伝の意図が明らかである。	
	e) 修正を要する根本的な指導事項をあまりにも多く含んでいる。	f) その他(論文、報告の場合も参考とする。)	

判定理由(必ずお書きください)

いいところもあれば、わるいところもある。

よって、搭載可と判定される。

討議の希望の有無(編集委員会では活発な討議を希望しております。)

1. 希望する。 2. 編集委員会からの要請があれば投稿する。 ③. なし

<b>評価</b>		(判定の理由になるものです。原稿の内容に具体的な評価をお示し下さい。評点の該当する数字に丸印を付けて下さい。)
<b>新規性</b> (新しい内容を含んでいること。)		
<b>評点</b> ④ <b>あり</b> 3 <b>ややあり</b> 2 <b>さほどなし</b> 1 <b>なし</b>	<b>評点が4、3の場合、該当する項目に丸印を付けて下さい。</b> ④ 主題、内容、手法に独創性がある。 d) 創意工夫に満ちた計画、設計、工事等について貴重な技術的検討、経験が示されている。 ⑤ 学会、社会に重要な問題を提起している。 e) 困難な研究・技術的検討を成し遂げた貴重な成果が盛られている。 c) 現象の解明に大きく貢献している。 f) 時宜を得た主題について総合的に整理し、新しい知見と見解を提示している。 g) その他(所見欄に具体的にお書き下さい。)	
<b>所見</b> (評点が2、1の場合は必ずお書き下さい。) すばらしい新規性です。		
<b>有用性</b> (内容が学術上、工学上、その他実用上何らかの意味で価値があること。)		
<b>評点</b> 4 <b>あり</b> ③ <b>ややあり</b> 2 <b>さほどなし</b> 1 <b>なし</b>	<b>評点が4、3の場合、該当する項目に丸印を付けて下さい。</b> a) 主題、内容が時宜を得て有用である。 f) 当該分野での研究・技術の優れた体系化をはかり、将来の展望を与えている。 b) 研究・技術の応用性、有用性、発展性が大きい。 g) 研究・技術の成果は実務に取り入れられる価値を持っている。 c) 研究・技術の成果が有用な情報を与えている。 h) 本原稿を登載することは会員および読者に益するところが多い。 ④ 実験、実測のデータで研究、工事等の参考として寄与する。 i) 今後の実験、調査、計画、設計、工事に取り入れられる価値がある。 e) 新しい数表、図表で応用に便利である。 j) 問題の提起、試論又はそれに対する意見として有用である。 k) その他	
<b>所見</b> (評点が2、1の場合は必ずお書き下さい。) とっても有用です。		
<b>完成度</b> (内容が簡潔、明瞭に記述されていること。)		
<b>評点</b> 4 <b>あり</b> 3 <b>ややあり</b> 2 <b>さほどなし</b> ① <b>なし</b>	<b>評点が4、3の場合、該当する項目に丸印を付けて下さい。</b> a) 全体の構成が適切である。 ㉔ 図・表は分かり易く作られている。 b) 目的と結果が明確である。 ㉕ 全体的に冗長になっていない。 c) 既往の研究・技術との関連性は明確である。 g) 図・表などの数は適切である。 d) 文章表現は適切である。 h) その他(所見欄に具体的にお書き下さい。)	
<b>所見</b> (評点が2、1の場合は必ずお書き下さい。) 非常に高い完成度です。		
<b>信頼度</b> (内容に重大な誤りが無く、また読者から見ても信用の置けるものであること。)		
<b>評点</b> ④ <b>あり</b> 3 <b>ややあり</b> 2 <b>さほどなし</b> 1 <b>なし</b>	<b>評点が4、3の場合、該当する項目に丸印を付けて下さい。</b> a) 重要な文献が落ちなく引用され、公平に評価されている。 b) 従来からの技術や研究成果との比較や評価がなされ、適正な結論が導かれている。 c) 実験や解析の条件が明確に記述されている。 d) その他(所見欄にお書き下さい。)	
<b>所見</b> (評点が2、1の場合は必ずお書き下さい。) 信頼できる結果です。		

## 修正意見



## 修正意見の分類

- I 修正が必要な事項
- II 修正が望ましい事項
- III 記述の誤り、不明な点
- IV その他

No.	分類 番号	箇所 (頁、行)	修正意見の内容
1	I	p.2 右 5 行め	ここはこうの方がいいでしょう。
2	II	p.4 右 15 行め	そこはそうの方がいいでしょう。

足りない場合にはコピーしてお使い下さい。

No.	分類 番号	箇所 (頁、行)	修正意見の内容
3	I	ここ	もっといいことがある。

足りない場合にはコピーしてお使い下さい。

No.	分類 番号	箇所 (頁、行)	修正意見の内容
4	II	ここ	もっともっといいことがある。

足りない場合にはコピーしてお使い下さい。